第四十回　卒業式　式辞

桜のつぼみが少しずつ膨らみはじめ、風のにおいや陽だまりの温かさに、確実に春が近づいていることを感じる今日の佳き日、平成二十八年度卒業式を行うにあたりまして、川西市教育委員会　教育長職務代理者　加藤隆一郎　様をはじめ、多数のご来賓のみなさま、地域のみなさま、並びに保護者のみなさまのご臨席を賜り、教職員を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、 八十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

六年間という長い小学校生活を終えて、今、みなさんの心にはたくさんの思い出がよみがえっていることでしょう。楽しかったこと、うれしかったこと、悲しかったことや悔しかったことなども含めて、みなさんは一つ一つの階段を昇り、ここまで大きく成長してきました。

私自身はみなさんとは一年間だけ、共に学校生活を送ってきたのですが、それでも修学旅行や運動会、音楽会などの行事における、みなさんの取り組みは非常に印象的なものでした。特に、運動会で何度も何度も繰り返し練習を重ねていた姿や当日の力強い演技、音楽会で見せてくれた、一人ひとりの頑張りと集団としての連携と協力には、最高学年としての自覚と誇りが感じられました。

このように大きく成長し、卒業を迎えられたみなさんにわたしから大切にしてほしいことがあります。

それは「自分の考えをしっかり持って行動する」ということです。ここ数年の、社会や世界の動きを見ていると、少子高齢化の課題や環境問題など、さまざまな矛盾が明らかになり、これからみなさんが迎えられる時代は、新しい価値観のもとで今までの習慣やシステムを見直し、新しい方法を見つけ考えていかなければならない、そんな時代になってい

くように思います。

そんな時に大切にしてほしいのが、「自分の考えをしっかり持って行動する」ということなのです。では具体的にはどうすることなのか。

今から、三つのことをみなさんにお話しします。

まず、「正しい情報を見極める」ということです。インターネット環境の進化によって、情報量が爆発的に増え、みなさんが目にしたり耳にしたりする情報もとても多くなりました。でもだからこそ、間違った情報や勝手な憶測に惑わされず、正しい情報は何であるかをしっかり見極める必要があります。

これは何も世界的なニュースだけでなく、グループでのやり取りやうわさ話、文字による情報伝達による誤解など、身近なところから注意していく必要があります。簡単に情報が手に入る時代だからこそ、みなさんにはぜひ、この「正しい情報を見極める」力を身につけてほしいと思います。

二つ目は、「決断する勇気を持つ」ということです。どんな方法でもこれが絶対正しいというものはありません。その方法の良いところは何か、問題点は何か、を十分に踏まえたうえで、自分なりの意見をしっかり持ち、決断していかなければなりません。批判ばかりで自分で決断しない人ほど、その責任を自分で取らず、失敗を他人のせいにしがちです。自分で精一杯考えたからこそ、勇気を持って決断する必要があるのです。

そして最後が「具体的に行動する」ということです。いくら自分の考えを持ったところで、具体的な行動を起こさなければ形になりません。自分の意見に基づいた行動、それはちょっとしたことでも構いません。具体的な行動を起こすことが、自分を変えていく、社会を変えていく、そして未来を変えていく原動力になるのです。

「正しい情報を見極める」「決断する勇気を持つ」「具体的に行動する」、そうすることで

「自分の意見をしっかり持って行動する」ことに結びついていくのです。

こう話すととても大きな話のように感じて、なかなか実感がわかない人がいるかもしれません。でも、そんなことはありません。中学校に入学したとき、さっそくこのことを意識しなければならない場面に、みなさんは直面するでしょう。

「小学校で苦手だった教科をどう克服するのか」「新しい人間関係の中で、どんな友達を作るのか」「どんな部活動に入ってどう取り組んでいくのか」など、今日、この式の中で語ってくれた、みなさんの将来の夢を実現するためには、「自分の意見をもって行動」していかなければならないのです。

でも、私はみなさんに期待しています。先ほどみなさんの頑張りについて、私は運動会や音楽会などの学校行事を挙げました。でも、私がこの一年間、みなさんを見ていて、最も素晴らしい取り組みだと感じたのは、毎日の授業です。

教室に入ったり廊下を歩いたりしたときに、皆さんの授業を見るたび、私はみなさんの「学び」に感心しました。静かに集中して授業に臨んでいるだけでなく、きちんとノートを取る、自分の意見を積極的に発表する、そして他の人の意見にもしっかり耳を傾ける、こういった「学び」の姿は、まさしく「自分の意見をしっかり持って行動する」ことの基盤になっています。この一年間、清和台南小学校が、落ち着いた学習環境の中で「学び」続けられたのも、みなさんの力によるところが多いと私は確信しています。

これから中学校に入学して、いろいろ悩んだり迷ったりすることもあると思いますが、小学校時代に学んだことを自信にして、「自分の意見をしっかり持って行動」してほしいと願っています。

保護者ご家族のみなさま、お子様のご卒業おめでとうございます。

お子様が立派に成長し巣立っていく今日の姿を見られて、喜びもひとしおのことと存じます。六年間の学校生活の中で、学校として至らない点も多々あったとは存じますが、今日まで本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、本当に感謝いたしております。今までの立場とは少し変わりますが、お子様の成長を連携して見守っていけるよう、今後ともよろしくお願いいたします。

また、地域・関係機関のみなさまには、さまざまな場面でご支援いただき、ありがとうございました。子どもたちはここ清和台をふるさととして成長していく、私たちの宝です。時には厳しく、時には温かく、今後とも見守っていただきますよう、お願い申し上げます。

さあ、卒業生のみなさん、みなさんの前には、さまざまな可能性を秘めた未来が広がっています。勇気を持ってしっかりと一歩を踏み出してください。その勇気を支えてくれるのは、みなさんが過ごした清和台南小学校での六年間であり、共に学んだ仲間であり、応援してくれた、たくさんの人たちです。これからの出会いを大切にして、また、大きく成長した姿を見せてくれることが、私たち教職員の喜びであり、誇りでもあります。

がんばれ！　卒業生！

はばたけ！　卒業生！

これをもちまして、式辞といたします。

平成二十九年三月十七日

川西市立清和台南小学校

校長　石田　剛